

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	まなびの城		
○保護者評価実施期間	2026年 3月 10日		2026年 3月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	50	(回答者数) 37
○従業者評価実施期間	2026年 3月 10日		2026年 3月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 4月 2日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別支援の対応ができるので、それぞれの特性に対応し得意なこと、好きなことを伸ばすことができること	それぞれの特徴や特性、やりたいことを本人や保護者さんから伺い、特性を活かしてカリキュラムを考えてすすめています。	個別の課題を深め、「できた！」の喜びを増やし、自己肯定感を高めていけるよう努めます。
2	長期休みなどには集団、普段は個別など使い分けることができること。	集団のときに見えた課題を、個別療育のときに活かすことができている。長期休みでも、集団か個別を選択することができるようにしています。	集団での課題、個別での課題を探り、解決策を考えていくことで、総合的な力を伸ばしていけるように取り組んでいます。
3	英語・ピアノ・プログラミング等について、学びたい場合にも対応することができること。	ピアノでは楽譜からの練習だけでなく、音を聴いて耳から弾けるようにするなど、それぞれに応じた練習方法を提供しています。ビジュアルプログラミングを用いることで、視覚的にも分かりやすい内容となっています。	自信につなげることができるよう、英語検定・プログラミング検定等を積極的に利用しています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	通所されている保護者さん同士のつながりが希薄なこと。	保護者さんの横のつながりに対するニーズを把握しきれなかったこと。	ニーズを把握できるよう努めます。
2	保護者さんへの合同の研修等がないこと。	保護者さんの要望の把握、それぞれの課題の違いから共通の課題を探ることができなかったこと。	それぞれの課題を把握できるよう努めます。
3	地域や、他事業所との関わりがほとんどないこと。	地域や他事業所との関わりをもつ活動を考えることができなかったこと。	地域への参加もできるよう努めます。